

「今から「学校適正配置」是正を求める」署名

高いコストがかかる。十分に部活ができるグラウンドがない。

小樽商業高校を新中学校使用することに（適さないの）反対します。

「国の学校適正規模化のもともとの目的は？」

財政の健全化（ムダをなくする）ということがスタートです。

私たちは、市教育委員会に、

下記の項目を含め、地域住民が納得できるプランへの変更を今から求めます。

1. 【説明責任と見直しが必要】

- ・多くの学校で、「思い通りの統廃合」ができない。（見込みも含む）。一度立ち止まり、計画を見直すこと。
- ・人口減少が続く小樽で、中心市街地の活性化や各地域の特別な事情をふまえ、まちづくりも考えた「学校配置プラン」をつくること。

商業高校
買うと数億円！ + グラウンド工事 1 億 5 千万
+ 年間コスト 1,500 万？
新たな修繕・内装費も

2. 【市民が知らないことが問題】

- ・無理に工事をして、小樽商業高校を新中学校利用することは「費用対効果」で『経費のムダ遣い』となるので反対します。「使える学校は使う」意味で、同じ校区の西陵中学校を使う方が、中心市街地が居住地化している点から適切です。
- ・続く少子化・財政難の時に多額のお金をかけ、今後もいろいろな施設の維持・修繕など「新たな市民負担」が生じるので賛成できません。市民が知らないまま、市教委が拙速に進めるべきではなく、「道の施設の跡地利用」とは別な問題です。詳しくは HP もご覧ください

★文科省、市教委の適正規模に達しない小学校は、高島、幸、手宮中央、稲穂、奥沢、花園、潮見台など。
（太字は中部地区）—市教委 H27 年 10 月の H33 年度推計より—

★商業高校利用反対の理由

- ①道から、数億円の土地・建物・購入。1 億 5 千万円かけて現駐車場に小グラウンドを新設しても、機能性が低く無駄である。（部活には狭く、子供は喜ばない）。購入価格を市民がわからないのも問題。
- ②大きな高校は（30 クラス規模）、年間維持費が通常中学校の 2 倍以上の 1,300 ～ 1,500 万円程かかる。
- ③子供が減るなかで、不便な場所に新中学校は不要です。
- ④盛土グラウンドにより 7 m 弱のコンクリート壁と高い防球ネットができ、地域住民の不快。景観を壊す。
- ⑤つくった新中学校は、目的の「望ましい学校」としては数年も維持できない。
- ⑥近くに使える中学校がある。

※住所・年齢に定めは有りませんがご理解の上ご署名をお願いします。尚、FAX 等での返信は不可です。

平成 年 月 日

名 前	住 所

用紙が足りない場合は
コピーしてお使い下さい。

<団 体> 『今から「学校適正配置」是正を求める会』 代表 菰田 尚正（菰田尚正法律事務所）

<連絡先> 047-0032 小樽市稲穂 2-16-5 / 090-5955-7714 / 丸岡 裕幸

メールアドレス
seiryu@otaru.net

今から学校適正配置是正を求める会のホームページ
www.otaru.net/seiryu/

※一次集計は H29 年 1 月末日頃を予定



用紙はこちらからダウンロードできます

